

見えない！ 貧困

= 支援が届かない実態・・・

- 6畳1間で7人暮らす父子 ↓文科省(2014)
(就学援助制度:資料配布61.9%、HP掲載54.9%)
- 被災地の例(震災給付で生保0⇒見えなくなる)
- 3か所で働いても家賃が滞納になる母子家庭
- 車上やネットカフェで過ごす母子

教育ネグレクト、虐待通告必要(国民の義務)

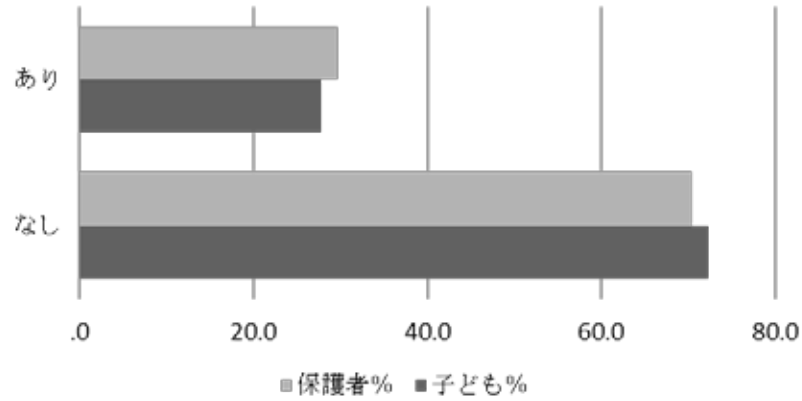
⇒学校から見える姿は・・・

遅刻が多い

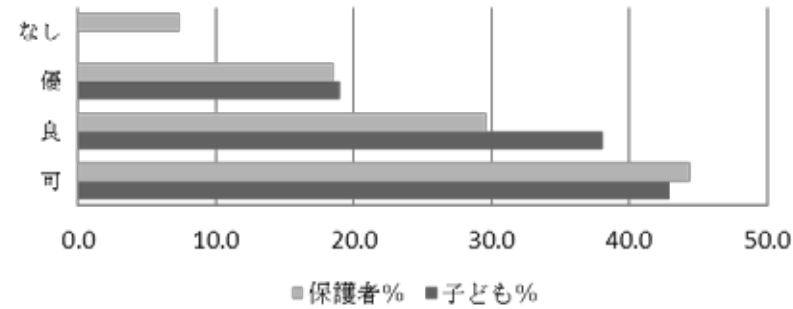
不登校、怠学

ある市の生保家庭高校生の学習支援事業調査(山野ほか2014)

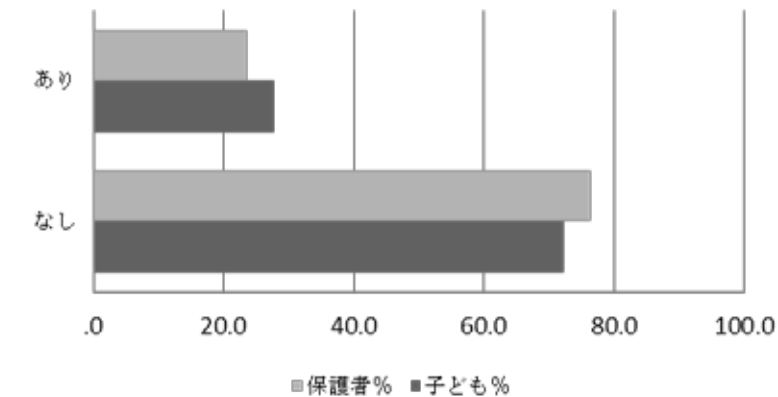
教師とのコミュニケーション



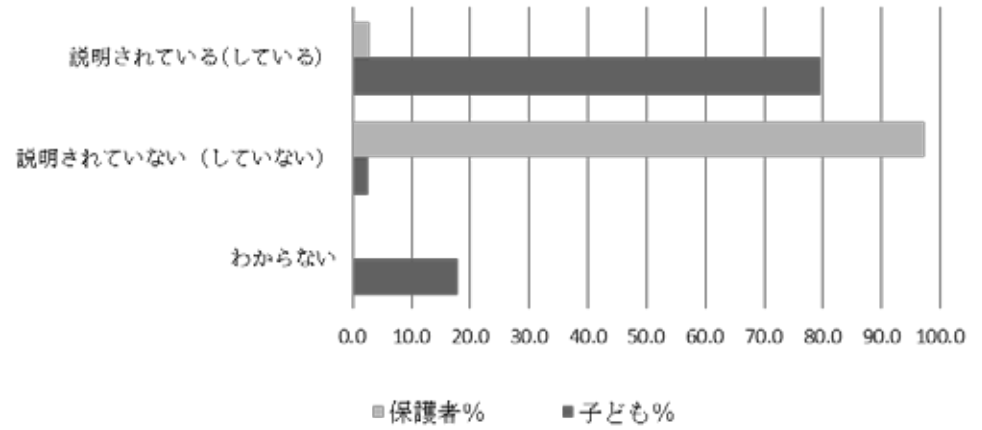
成績の評価



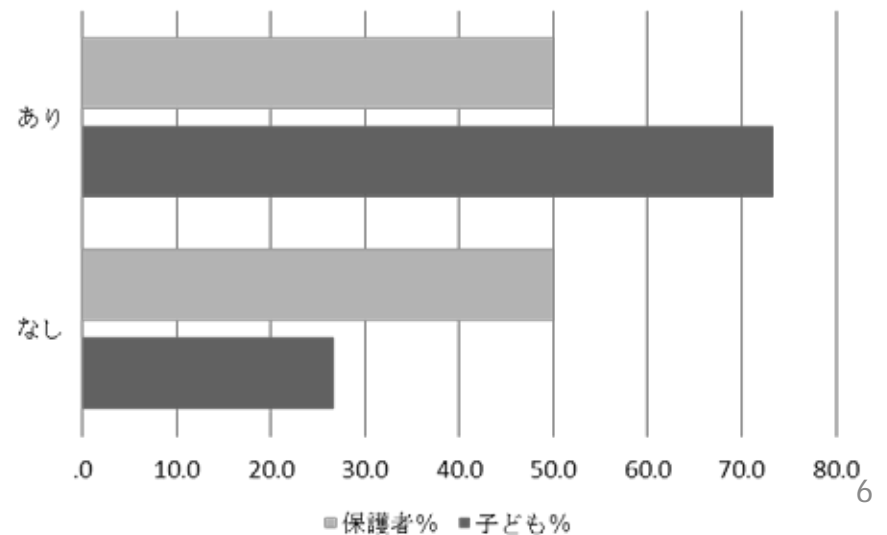
学校行事に参加



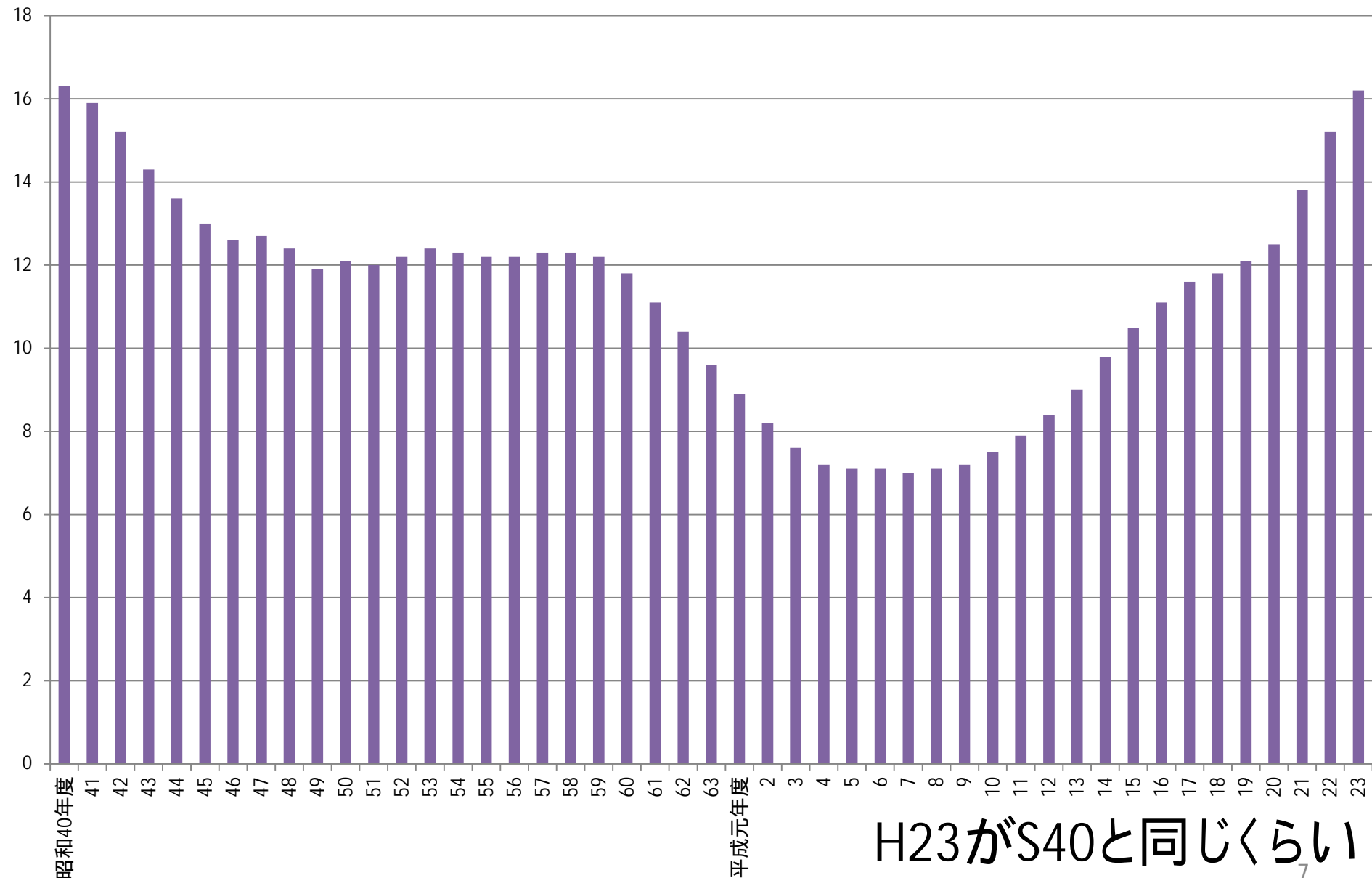
生活保護制度の理解



興味・夢、希望

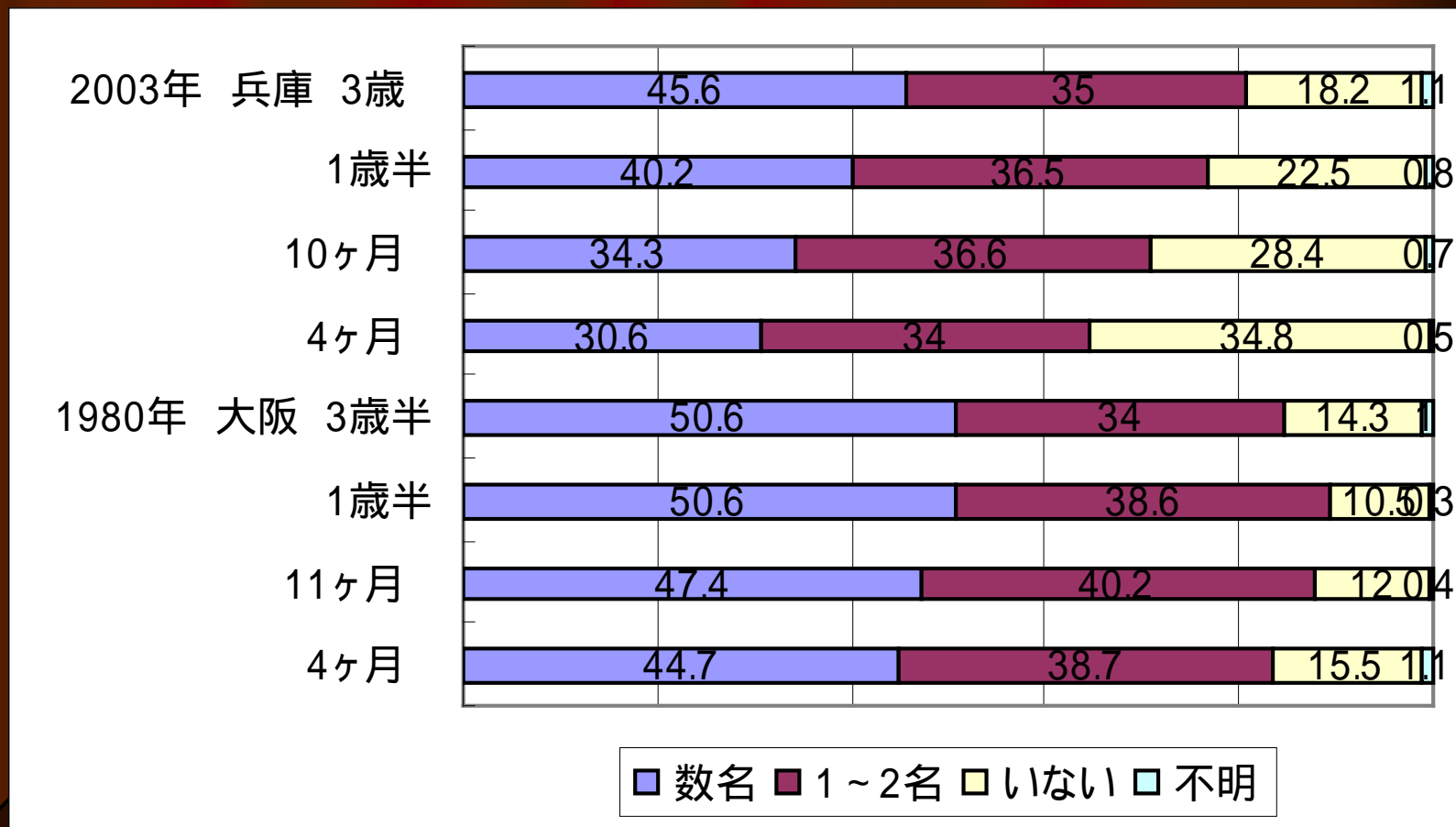


生活保護率年次の推移 (出所: 厚生統計要覧、厚生労働省)



H23がS40と同じくらい

近所にふだん世間話をしたり、赤ちゃんの話をしたりする人はいますか



<第1次調査>

孤立・不安の増大、評価気になる、「比較」傾向→30%から半数の人⇒**孤立が見えにくい!**

⇒視点を変える必要性

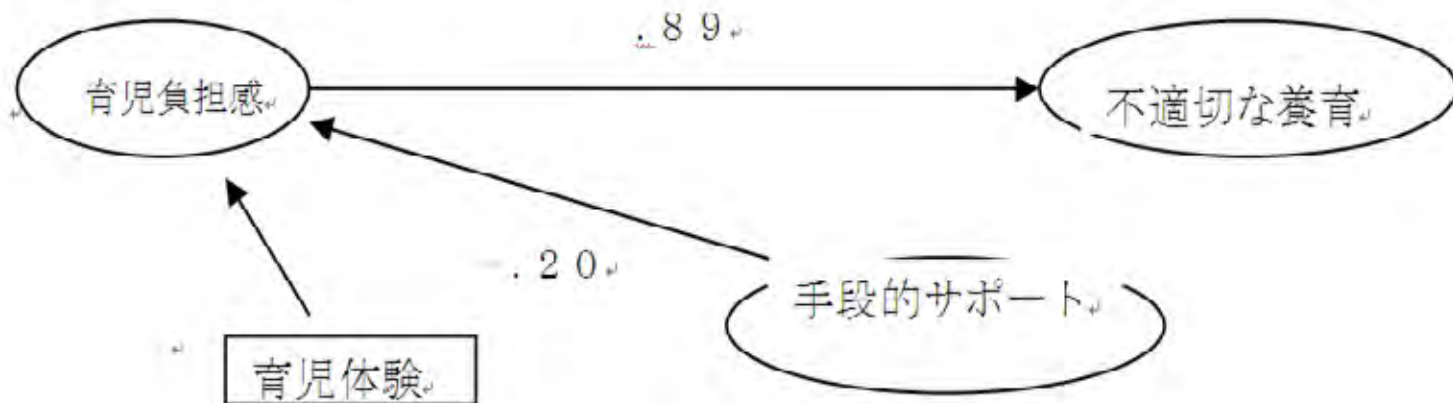
⇒児童虐待に直結

孤立 (確認・気付く場がない)

モデルがない (地縁、血縁の希薄化)

自信が持てない

<第3次調査> (育児負担感の軽減に寄与するもの)



*手段的サポートとは

留守の間見てもらう

買い物の間、見てもらう

病院の付き添いの代理 等

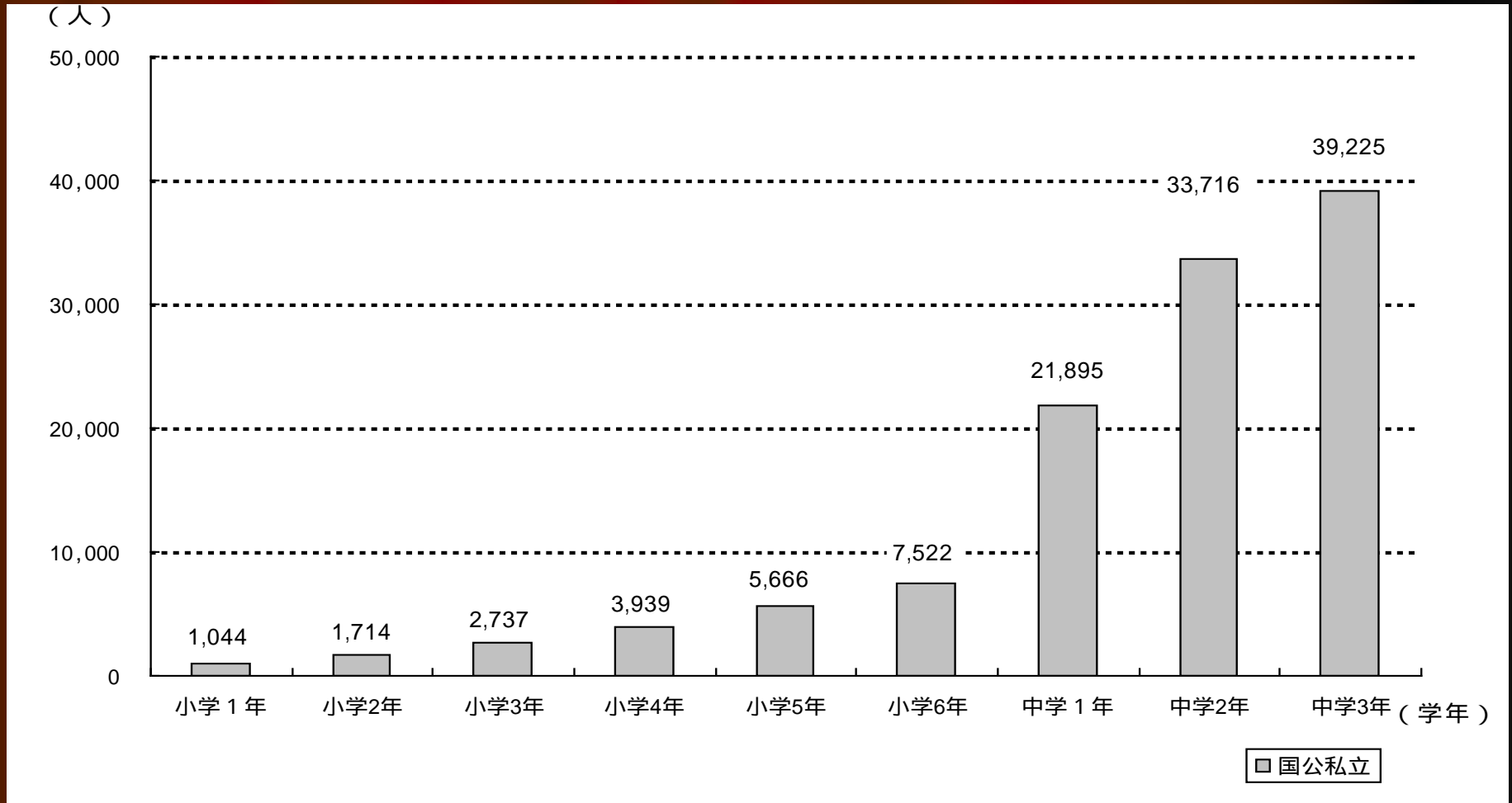
児童虐待の影響

- 全国児童自立支援施設入所児童の約6割が被虐待児(1999年における調査:対象者数1405人,回収率87.7%)
- 少年院全体の約70%が身体的虐待あるいは性的虐待の被虐待経験(法務総合研究所,2000)
- 「粗暴傾向の少年相談事例に関する調査」では,5,6人に1人の割合で被虐待経験(科学警察研究所,2002)

SSW事例:50人の子どもたちが授業に入らない中学校靴箱がぼこぼこ、廊下は吸殻散在、地域から苦情。学校が最も困っていたのは警察の呼び出しも行かない子どもの母(母子家庭)。学校を攻撃、非協力的。

学年別不登校児童生徒数

出所：文科省「平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」



小6から中1：段差約3倍